

SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)

〈資産成長コース〉

〈年7%定率払出しコース〉

〈年15%定率払出しコース〉

愛称：長生き人生

追加型投信／内外／その他資産(株式・オプション)



ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

本資料のお取扱いについてのご注意

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社により作成されております。○本資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますがその正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証ではありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。○投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは



商号等：株式会社中国銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号
加入協会：日本証券業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会

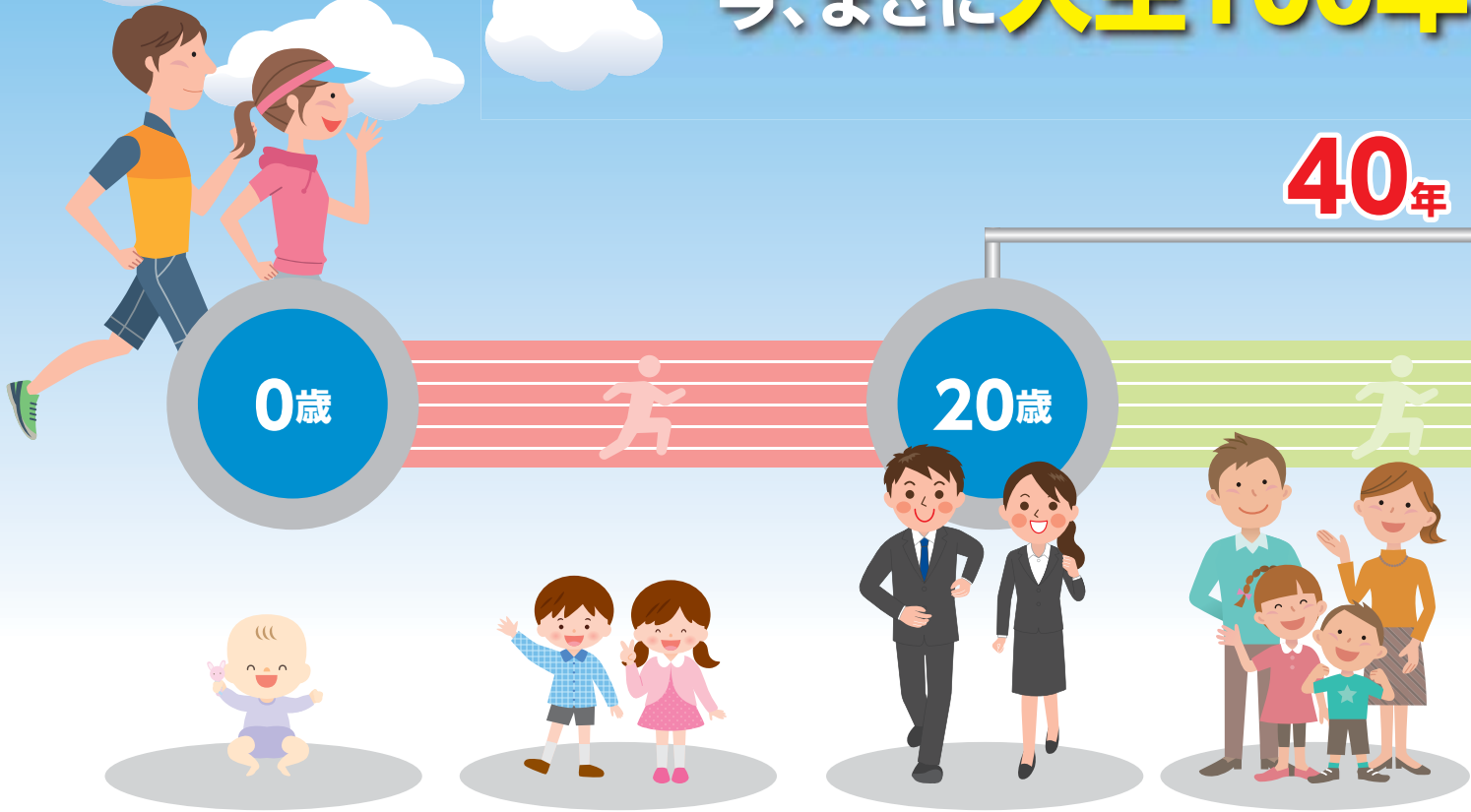
■設定・運用は



商号等：SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会

2017年、内閣官房に設置された 今、まさに**人生100年**

40年



人生100年時代に輝き続けるため、
どのような生活設計を描いていますか？

～趣味や余暇を存分に楽しむためにも
健康で豊かな老後を過ごしたいですね～



のんびり旅行、
ゆっくり食事



いくつになっても
新しいことに
チャレンジ!!

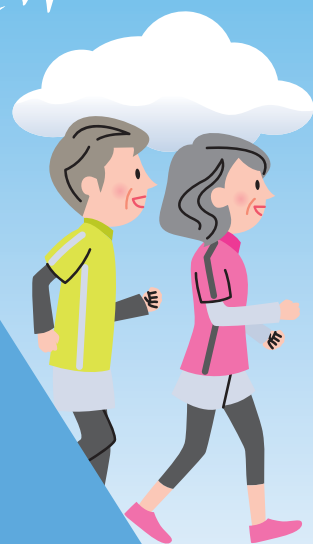
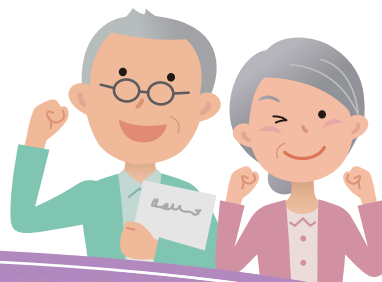


「人生100年時代構想推進室」。 時代が到来しようとしています。

(ロングラン80年) **40**年

60歳

100歳

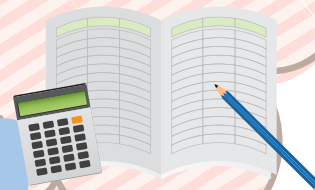


ところで、このようなゆとりある老後を過ごすための生活費、準備や計画はできていますか？

公的年金と貯蓄で生活費が十分か不安...



老後資金をいくら準備すればいいかわからない...



老後生活資金の課題 ～ 資産寿命を生命寿命^{※1}より伸ばすために ～

●65歳男性を例に試算した場合

| | | |
|---|--|--------------------|
| 1 | 金融資産額 (2人以上世帯) | 約2,000万円 |
| 2 | 老後の最低日常生活費 ^{※2} (夫婦2人分) | 22.0万円/月 |
| 3 | ゆとりある老後生活費 (夫婦2人分) | 34.9万円/月 |
| 4 | 老後のゆとりのための上乗せ額 (上記2と3の差額に相当*) *サンプルごとに合計した値の平均値の為、表記金額との誤差が生じます。 | 12.8万円/月(約154万円/年) |
| 5 | 資産寿命 (上記1÷上記4) | 約13年 |
| 6 | 65歳男性の平均余命(19.70年)との差 | 約6年半 |

資産寿命が生命寿命に届かないリスク

[出所] 1: 厚生労働省「平成29年版厚生労働白書」
2,3,4: (公財)生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」
6: 厚生労働省「平成30年 簡易生命表」

※1: 資産寿命…資産を定期的に取り崩していった際に、資産残高が無くなるまでの期間を資産寿命と名付けました。

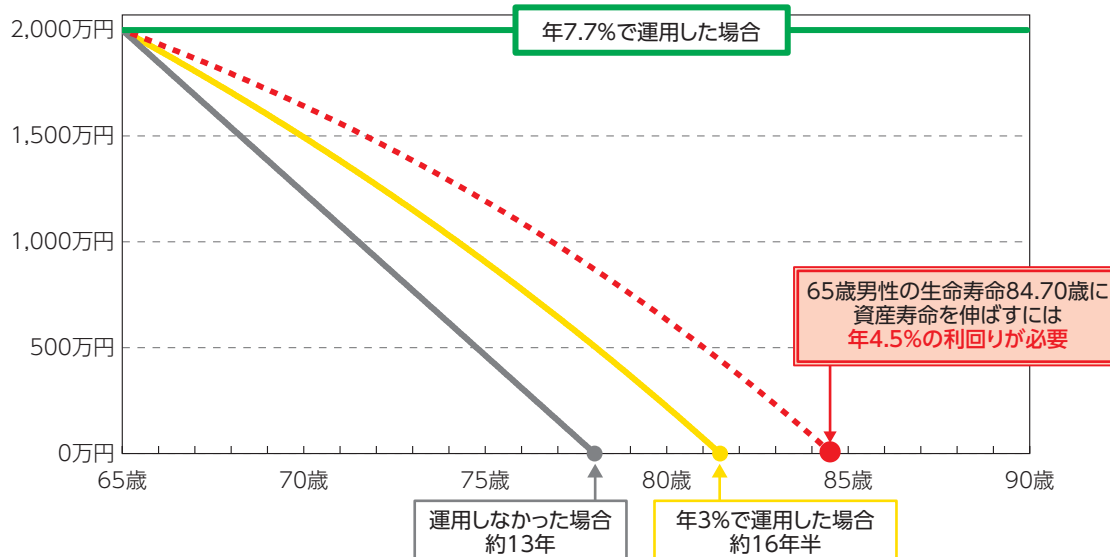
生命寿命…一般的な寿命のことですが、当資料では資産寿命と区別するために生命寿命という言い方をしています。

※2: 厚生労働省「平成31年度の年金改定について」(平成31年1月)によると、平成30年度の新規裁定者(67歳以下)の厚生年金*(夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)は22.1万円であり、老後の最低日常生活費(22.0万円)と同水準となります。

*厚生年金は、夫が平均的収入(平均標準報酬(賞与含む月額換算)42.8万円)で40年間就業し、妻がその期間すべて専業主婦であった世帯が年金を受取り始める場合の給付水準です。

2,000万円を毎月12.8万円*ずつ取崩した場合の運用利回り別の資産寿命

*上記「4 老後のゆとりのための上乗せ額」より



※税金、運用コストは考慮していません。

[出所]SBIアセットマネジメント作成

人生100年時代を安心して迎えられる手助けとなるよう

SBIアセットマネジメントは

『SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)』

(愛称:長生き人生)』

を提案いたします。



『長生き人生』のご紹介

『長生き人生』2つのポイント

- ☑ **多** 様な生活スタイルに合わせ、複数のコースをご用意
 - 分配(払出し)方針の異なる3つのコース(資産成長コース・年7%定率払出しコース・年15%定率払出しコース)から選択が可能です。
 - ※以下、「分配」を「払出し」と表示する場合があります。

- ☑ **払** 出し金額をあらかじめ提示し、資産の計画的な取崩しをお手伝い
 - 定率払出しコースの払出し金額は決算日の基準価額に応じてあらかじめ提示いたします。
 - 公的年金の支給がない奇数月には偶数月の2倍前後の金額を払出し、生活資金としての役割も担います。
 - 払出しをした結果、基準価額が3,000円を下回った場合には、安定運用に移行し、繰上償還を行います。

『長生き人生』運用の3つの特徴

- ☑ **独** 自の銘柄選定手法により、世界の高配当株式に投資
 - 本ファンドは、世界の株式を投資対象とします。その中から、相対的に高い配当利回りで、健全性の高い銘柄を選定し、安定的な配当等収益の確保を目指します。
 - 高配当株の選定は、クレディ・スイスが有する企業価値評価モデルを活用した個別企業分析に基づいて行います。

- ☑ **世** 界の高配当株式への投資とカバードコール戦略を組み合わせ
 - 本ファンドは世界の高配当株式への投資と、その個別銘柄を対象としたカバードコール戦略を組み合わせることにより、世界の高配当株式からの配当金に加え、カバードコール戦略から得られるプレミアム収入も払出しの原資として期待できます。

- ☑ **為** 替変動リスクの低減を目的として、原則として為替ヘッジを行います
 - 外貨建て資産への投資を行うにあたって、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動によるリスクの低減を目指します。

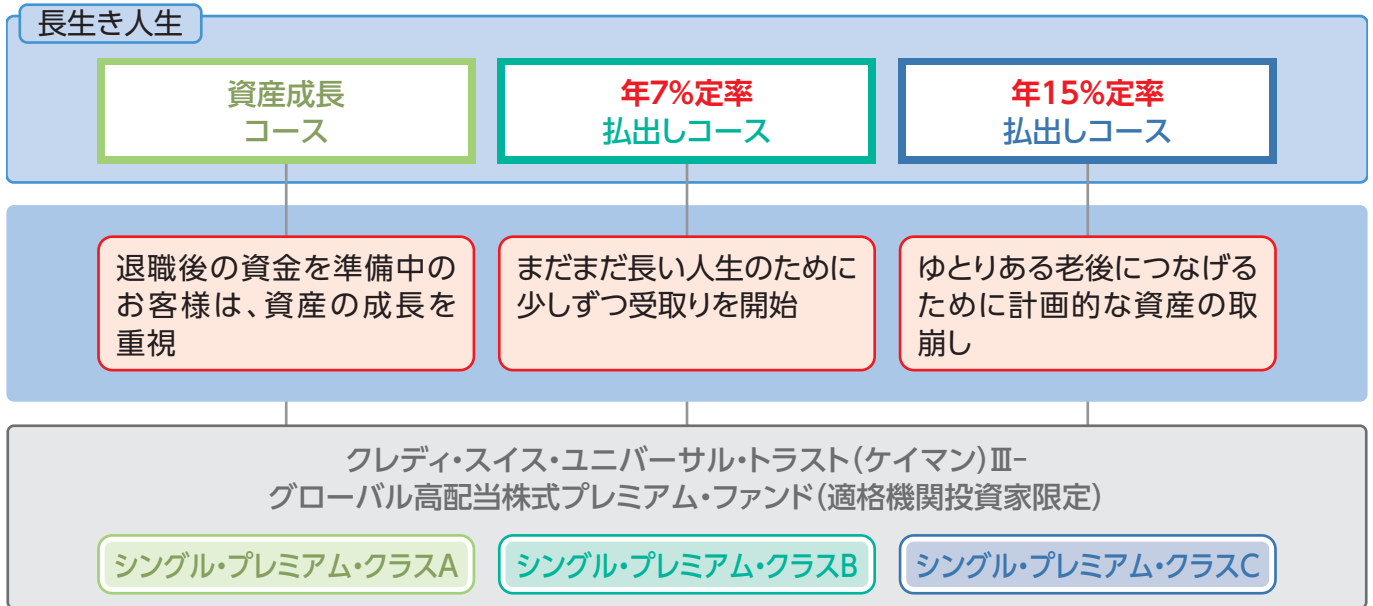
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

『長生き人生』2つのポイント その1

多様な生活スタイルに合わせ、複数のコースをご用意

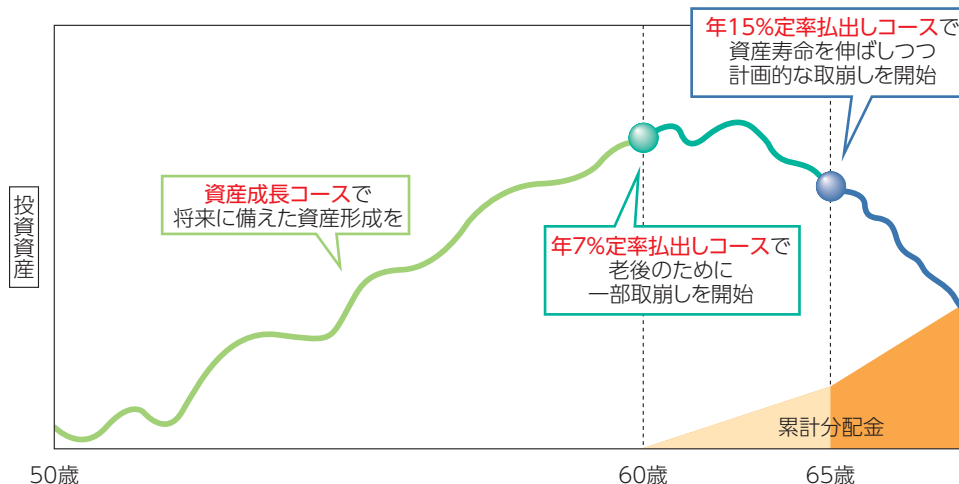
- これまでの人生も、これからの人生も、幸せに暮らすために必要なお金は年齢や性別によっても様々です。
- 皆様の多様な生活スタイルに合わせ、払出し方針の異なる**3つのコース**をご用意いたしました。

【ファンドの仕組み】



【各コースを使った投資例(イメージ)】

(あらゆる世代のニーズに対応 … 資産成長コースで10年間運用した後、5年間年7%受取り、65歳以降年15%受取り)



※上記はイメージ図であり、ファンドの将来の運用成果について示唆、保証するものではありません。資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

『長生き人生』2つのポイント その2



出し金額をあらかじめ提示し、資産の計画的な取崩しをお手伝い

- 夢や目標を実現させるためには計画的な生活設計が重要になるのではないのでしょうか。
- 本ファンドでは計画的な生活設計のお役に立てるよう、定率払出しコースの払出し金額は決算日の基準価額水準に応じて**あらかじめ提示**いたします。
- さらに、公的年金の支給がない奇数月には原則として偶数月の**2倍前後の金額**を払出し、生活資金としての役割も担います。
- 本ファンドは、計画的な資産の取崩しニーズに応えます。払出し金を支払うことで、基準価額が下落するため、基準価額が3,000円を下回った場合には、安定運用に移行し、繰上償還を行います。

【払出し水準表】(想定例示)

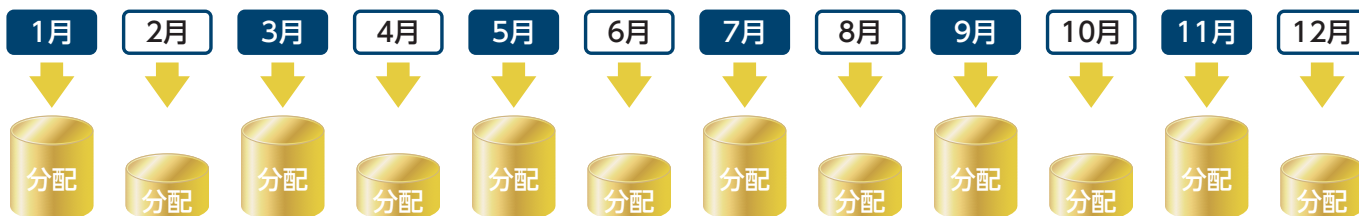
※基準価額が3,000円を下回った場合には、安定運用に移行し、繰上償還を行います。

■決算前基準価額水準に基づく目標払出し金額

(1万口当たり/税引き前)

| 決算前基準価額 | 年7%定率払出しコース | | | 年15%定率払出しコース | | |
|-----------------|-------------|------|-------------|--------------|------|-------------|
| | 月額 | | 年率換算 利回り | 月額 | | 年率換算 利回り |
| | 偶数月 | 奇数月 | | 偶数月 | 奇数月 | |
| 14,500円～14,999円 | 55円 | 115円 | 7.0%～6.8% | 120円 | 240円 | 14.9%～14.4% |
| 14,000円～14,499円 | 55円 | 110円 | 7.1%～6.8% | 115円 | 235円 | 15.0%～14.5% |
| 13,500円～13,999円 | 55円 | 105円 | 7.1%～6.9% | 115円 | 225円 | 15.1%～14.6% |
| 13,000円～13,499円 | 50円 | 100円 | 6.9%～6.7% | 110円 | 215円 | 15.0%～14.4% |
| 12,500円～12,999円 | 50円 | 95円 | 7.0%～6.7% | 105円 | 210円 | 15.1%～14.5% |
| 12,000円～12,499円 | 45円 | 95円 | 7.0%～6.7% | 100円 | 200円 | 15.0%～14.4% |
| 11,500円～11,999円 | 45円 | 90円 | 7.0%～6.8% | 95円 | 190円 | 14.9%～14.3% |
| 11,000円～11,499円 | 40円 | 85円 | 6.8%～6.5% | 90円 | 185円 | 15.0%～14.3% |
| 10,500円～10,999円 | 40円 | 80円 | 6.9%～6.5% | 90円 | 175円 | 15.1%～14.5% |
| 10,000円～10,499円 | 35円 | 80円 | 6.9%～6.6% | 85円 | 165円 | 15.0%～14.3% |
| 9,500円～9,999円 | 35円 | 75円 | 6.9%～6.6% | 75円 | 160円 | 14.8%～14.1% |
| 9,000円～9,499円 | 35円 | 70円 | 7.0%～6.6% | 75円 | 150円 | 15.0%～14.2% |
| 8,500円～8,999円 | 35円 | 65円 | 7.1%～6.7% | 70円 | 140円 | 14.8%～14.0% |
| 8,000円～8,499円 | 35円 | 60円 | 7.1%～6.7% | 65円 | 135円 | 15.0%～14.1% |
| 7,500円～7,999円 | 25円 | 60円 | 6.8%～6.4% | 60円 | 125円 | 14.8%～13.9% |
| 7,000円～7,499円 | 25円 | 55円 | 6.9%～6.4% | 60円 | 115円 | 15.0%～14.0% |
| 6,500円～6,999円 | 25円 | 50円 | 6.9%～6.4% | 50円 | 110円 | 14.8%～13.7% |
| 6,000円～6,499円 | 25円 | 45円 | 7.0%～6.5% | 50円 | 100円 | 15.0%～13.8% |
| 5,500円～5,999円 | 20円 | 45円 | 7.1%～6.5% | 45円 | 90円 | 14.7%～13.5% |
| 5,000円～5,499円 | 15円 | 40円 | 6.6%～6.0% | 40円 | 85円 | 15.0%～13.6% |
| 4,500円～4,999円 | 15円 | 35円 | 6.7%～6.0% | 35円 | 75円 | 14.7%～13.2% |
| 4,000円～4,499円 | 15円 | 30円 | 6.8%～6.0% | 35円 | 65円 | 15.0%～13.3% |
| 3,500円～3,999円 | 15円 | 25円 | 6.9%～6.0% | 25円 | 60円 | 14.6%～12.8% |
| 3,000円～3,499円 | 10円 | 25円 | 7.0%～6.0% | 25円 | 50円 | 15.0%～12.9% |

【定率払出しコースの収益分配(払出し)イメージ】



- ・上記の払出し金額は、投資対象の外国投資信託において分配が行われ、かつ組入資産の売却やその売却代金の円貨での送金といった取引が円滑に行われうるとの予想に基づくものです。
- ・上記の払出しは、有価証券届出書提出日現在の法令や諸規則、税制を前提としています。今後法令や諸規則等が変更された場合、上記のような払出しができなくなる可能性があります。
- ・払出し水準は、上記の料率(金額)のお支払いを保証するものではありません。また、本ファンドの収益率や利回りを示すものではありません。
- ・払出し金(分配金)は、計算期間中の基準価額の上昇分を上回ることがあり、その一部または全部が**実質的な投資元本の払戻しに相当**する場合があります。
- ・払出し金(分配金)は、投資信託の純資産から支払われるため、**払出し金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下落します。**

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

『長生き人生』運用の3つの特徴 その1

独 自の銘柄選定手法により、世界の高配当株式に投資

- 世界の高配当株式の選定は、クレディ・スイスが有する一貫した企業価値評価手法により行います。この評価手法によって構築されたポートフォリオを世界高配当株式ポートフォリオと呼びます。(*以下同じ)
- この評価手法は、異なる会計制度を持つ国や業種が異なる企業の会計データを、1つのモノサシで様々な側面からの比較を可能とし、魅力的な銘柄をいち早く見出すことで利益の追求を図っています。

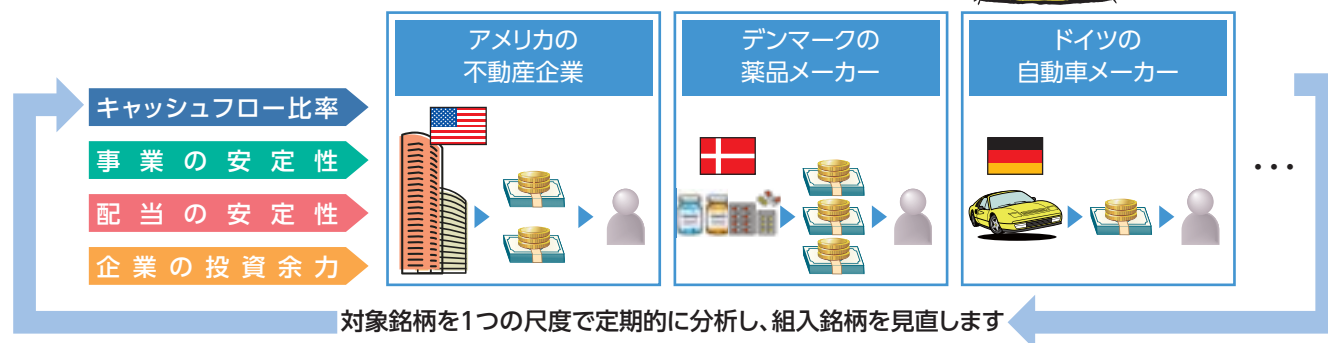
従来の分析手法

会計制度が異なる企業や業種が異なる企業の場合、自己資本利益率(ROE)や売上・利益の期待成長率などのデータを同じ尺度で比較することができず、比較・分析できる企業の数が限定されてしまうという問題がありました。

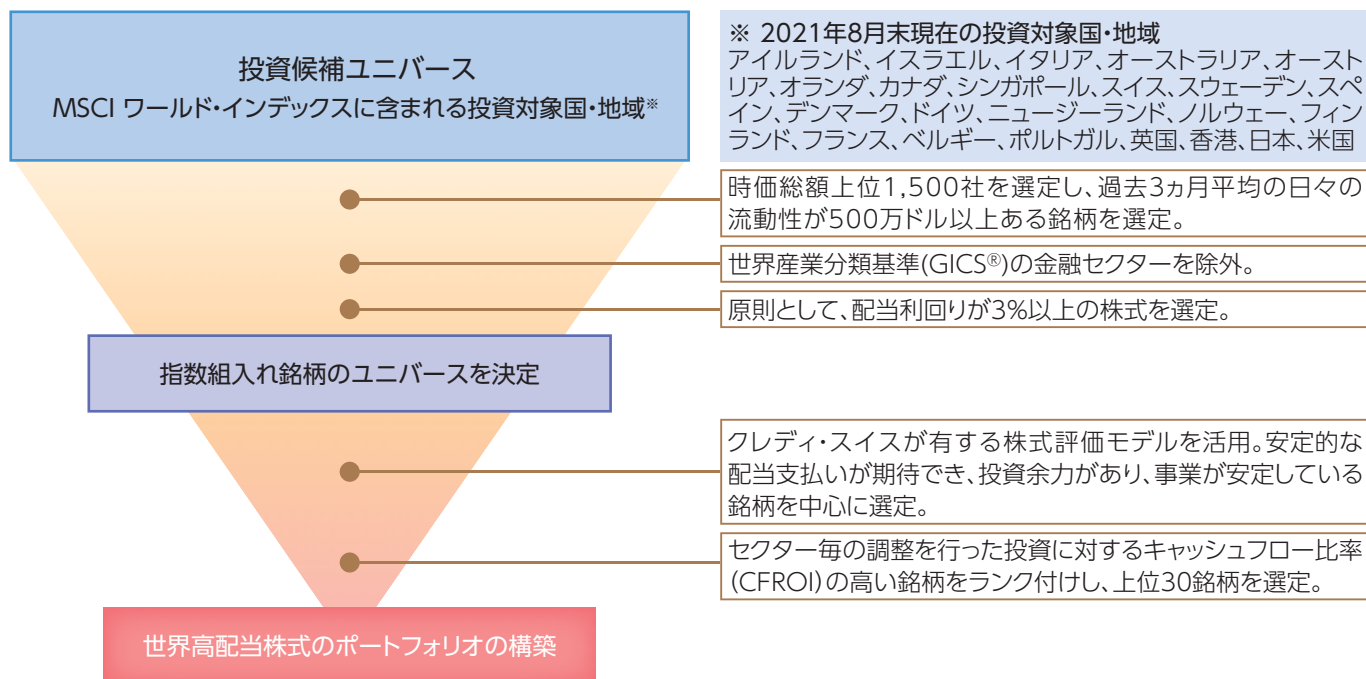


独自の分析手法

国や業種によって異なる基準を、各国で異なるインフレ率や企業・業種によって異なる会計処理の差異を調整し、統一した投資尺度で世界中の企業の比較分析を可能にしています。



【世界高配当株式ポートフォリオの構築プロセス】



○ MSCI ワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
○ 世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard ("GICS®"))は、MSCI Inc.とStandard and Poor's Financial Service LLC (S&P)が開発した業種分類であり、MSCI Inc.とS&Pの独占的な財産です。

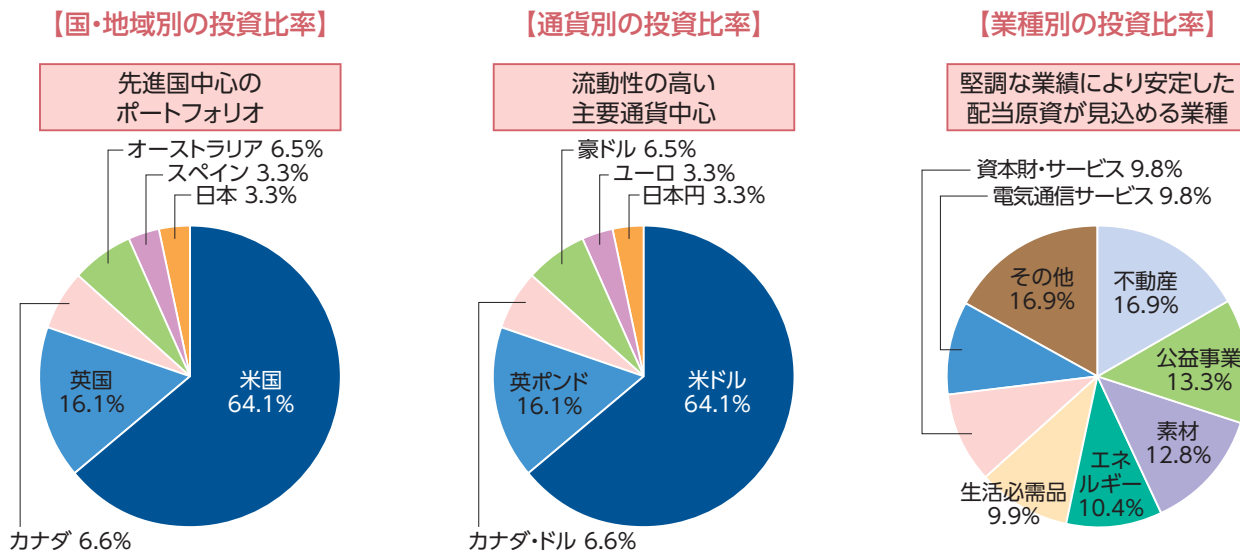
*上記プロセスは本書作成日現在のものです。今後変更になる可能性があります。

『長生き人生』運用の3つの特徴 その1

世界高配当株式ポートフォリオのパフォーマンス

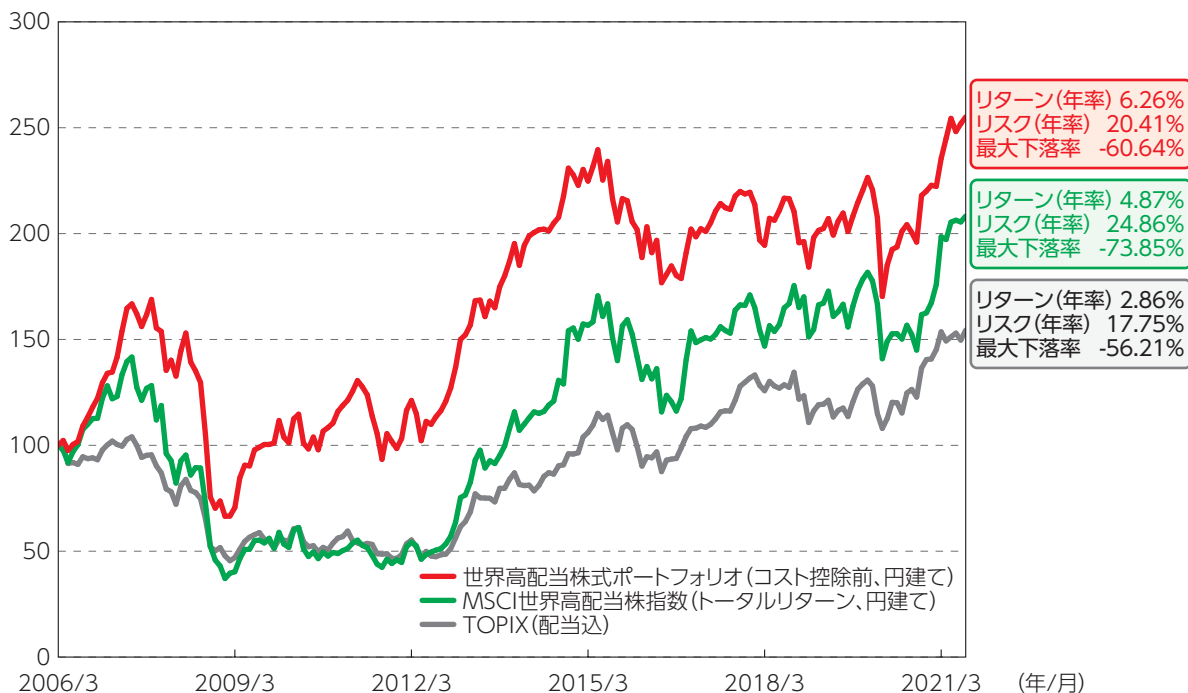
独自の分析手法により世界の株式の中から厳選された、事業・配当の安定性があり収益性が高い企業のポートフォリオは、下図の期間(2006年3月末～2021年8月末)において世界の主要国を対象とした株価指数を上回る収益の獲得を実現しています。

【世界高配当株式ポートフォリオの構成(2021年8月末現在)】



【世界高配当株式ポートフォリオのパフォーマンス】

2006年3月末～2021年8月末の期間、世界の代表的な株価指数と比較して長期的にパフォーマンスは良好でした。



【出所】Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成 (期間)2006年3月末～2021年8月末

※2006年3月末を100として指数化

2018年8月以降は世界高配当株式ポートフォリオの実績値を使用

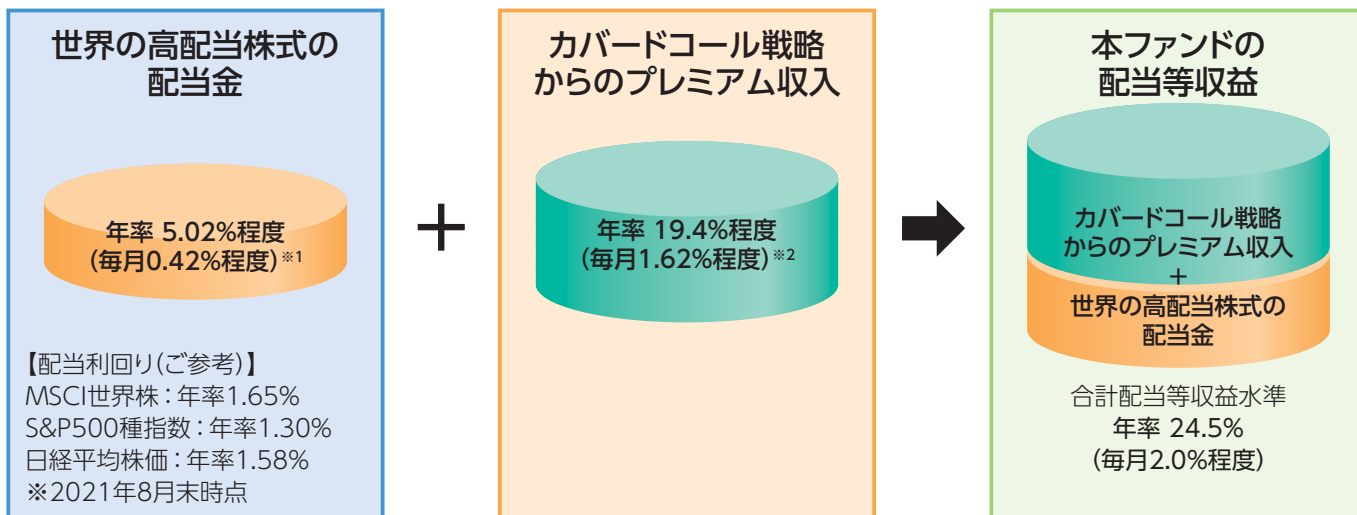
※上記数値は世界高配当株式ポートフォリオ(コスト控除前、円建て)およびMSCI世界株価指数(円建て)の過去のデータを基に算出したものです。「長生き人生」の運用の特徴を理解いただくための参考情報であり、「長生き人生」の運用実績ではありません。また「長生き人生」の将来の運用成果を示唆・保証するものでもありません。

『長生き人生』運用の3つの特徴 その2およびその3

世界の高配当株式への投資とカバードコール戦略を組み合わせ

世界の高配当株式からの配当金に加え、その個別銘柄を対象としたカバードコール戦略から得られるプレミアム収入によって、高水準の配当等収益の確保と、中長期的な値上り益の獲得を目指します。

【本ファンドの配当等収益のイメージ】



※1 2021年8月末時点の組入銘柄の平均配当利回り。

※2 2021年8月末時点のプレミアム額を年率換算。

為替変動リスクの低減を目的として、原則として為替ヘッジを行います

- 世界高配当株式ポートフォリオにカバードコール戦略、さらには、為替変動リスクの低減を目的とした為替ヘッジの組み合わせが、本ファンドの運用戦略となります。
- 長期投資*においては、株式へ単純に投資をした場合の運用成績よりも、為替変動リスクを抑えつつ、株式の値上りの可能性をプレミアムとして積上げた場合の運用成績の方が良い結果となっています。

*2006年3月末～2021年8月末の期間におけるシミュレーションおよび実績値に基づく。



- 世界の高配当株式を保有しつつ、その個別銘柄のコールオプション(あらかじめ定めた価格で買う権利)を売却する戦略です。高配当株式の一定水準以上の値上り益を放棄することで、対価としてプレミアム収入*を受取ります。
- 高配当株式から得られる配当金に加え、プレミアム収入を獲得することで、より高い水準の配当等収益の獲得を目指します。

*「プレミアム収入」とは、オプションの売却時に受取る代金(権利料)のことを指します。

コールオプションを売却する戦略(カバードコール戦略)については、P11～P12をご参照ください。

世界の高配当株式およびオプションの運用



クレディ・スイス グループの強み

長い経験と豊富な実績から生み出される質の高い運用力

創業160年に及ぶ世界有数の金融機関

クレディ・スイスは、スイスのチューリッヒに本拠を置く、世界有数のグローバルな金融機関です。バンキング業務におけるあらゆる実績とノウハウを培い、世界中の事業法人、機関投資家、個人富裕層、スイス国内個人顧客など幅広い層のお客様に、専門的な助言、包括的なソリューション、革新的な商品を提供し、常に高い評価を得ています。

世界50カ国に業務を展開

世界50カ国、約550拠点にて業務を展開し、150以上の国籍に及ぶ約48,770人の従業員を有しています。
(2020年12月末現在)

預かり資産は1兆5,119億スイスフラン(約176兆円*)に及びます。

*2020年12月末現在(1スイスフラン=116.672円で計算)

G-SIFIsとして認定された金融機関

主要国の中央銀行や金融監督当局などで構成されている金融安定理事会(FSB)が、国際的な金融システムの安定に欠かせないと認定した金融機関G-SIFIs(Global Systemically Important Financial Institutions)の一員です。認定された銀行は、世界の銀行の中でもより高い財務健全性が求められています。

クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッド

先進国株式およびオプション取引の運用

2000年1月4日にケイマン諸島会社法に基づきケイマン諸島に設立されたクレディ・スイス・グループのグループ会社です。信託証書に基づき、各トラストの資産の一任管理や受益証券の発行等を行います。

本ファンドにおけるカバードコール戦略とは？

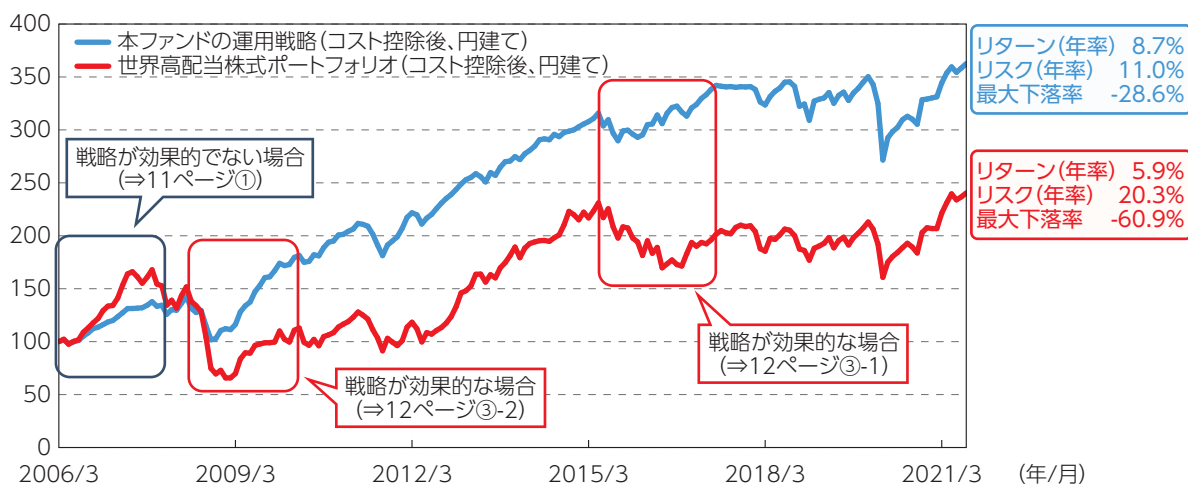
デメリットは…

配当金とプレミアム収入が得られる一方で、保有株式の価格の上昇による**利益の獲得は限定的**となります。

メリットは…

- ・保有株式の価格の上昇/下落にかかわらず、収益としてプレミアム収入を獲得することができます。
- ・保有株式の価格が下落した場合は損失が発生しますが、すでに受取っているプレミアム収入で相殺、あるいは軽減させることができます。
- ・株式のみを投資対象とするファンドの価格変動の大きさに比べてその変動幅が緩やかになる傾向があります。

※上記は、カバードコール戦略において一般的に認められているメリット・デメリットであり、市場動向等によっては、本ファンドが上記のような値動きをしない場合があることに十分ご注意ください。



[出所] Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成 (期間) 2006年3月末～2021年8月末

※2006年3月末を100として指数化

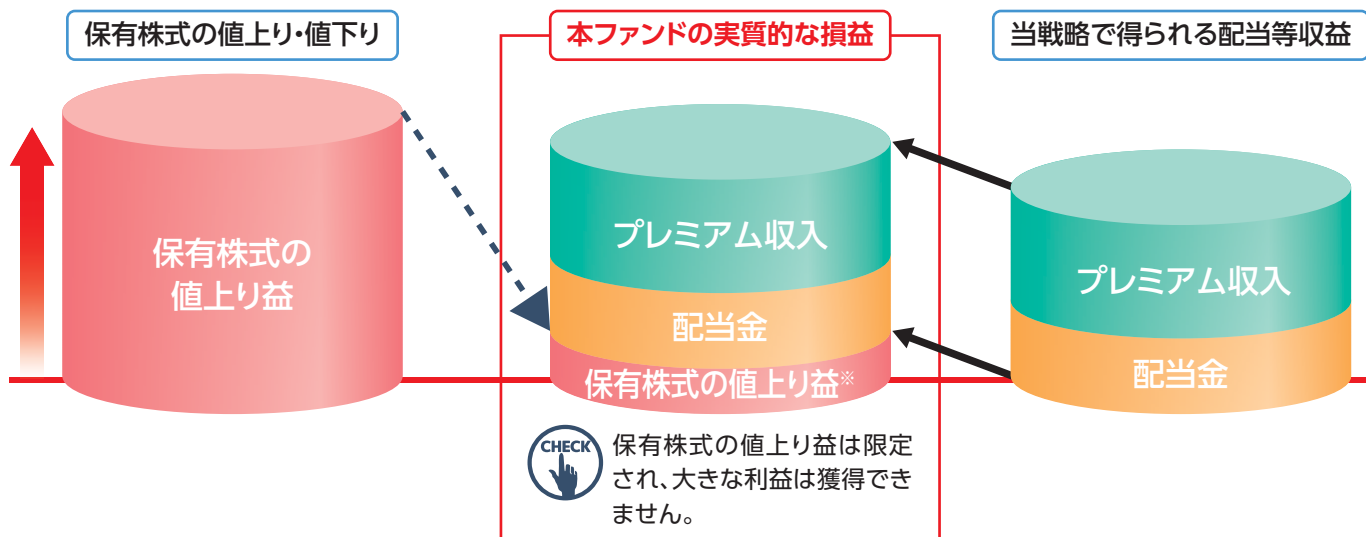
2018年7月末まではシミュレーション、2018年8月以降は実績値に基づく

※上記グラフにおける「本ファンドの運用戦略(コスト控除後、円建て)」(青線)は、赤線の「世界高配当株式ポートフォリオ(コスト控除後、円建て)」にカバードコール戦略を加え計算したシミュレーションデータです。「長生き人生」の運用の特徴を理解いただくための参考情報であり、**「長生き人生」の運用実績ではありません。**また、「長生き人生」の将来の運用成果を示唆・保証するものでもありません。

デメリット

① 当戦略が効果的とならない場合(=株価上昇局面)

配当金とプレミアム収入が得られる一方で、株価の上昇による利益の獲得は限定的となります。



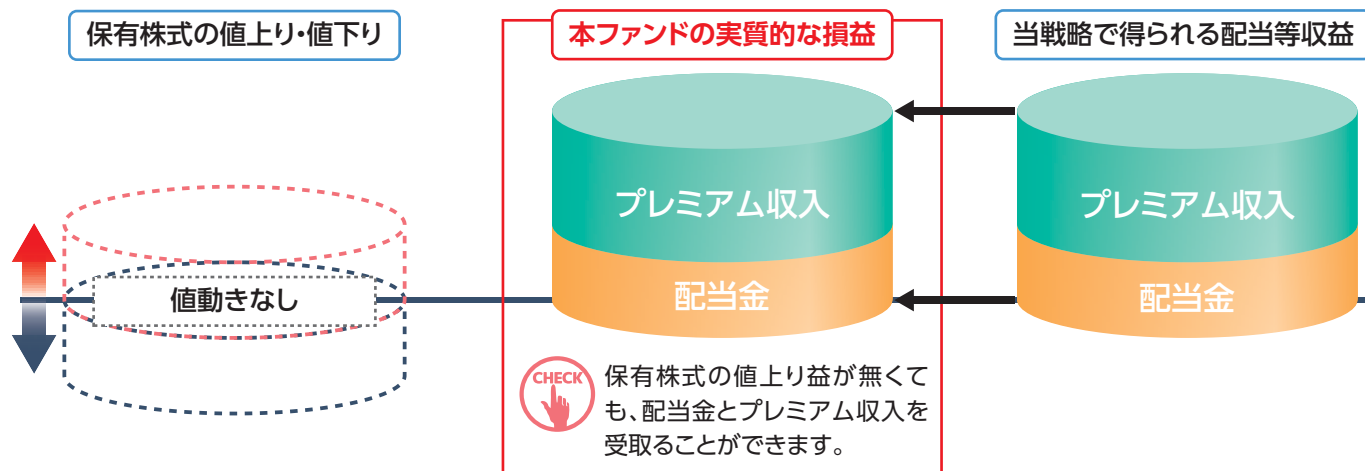
上記イメージ図は、カバードコール戦略の損益につきすべての場合を網羅したものではありません。また、ファンド全体の損益を表したものではありません。上記イメージ図は、ファンドの将来の運用成果について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

メリット

② 当戦略が効果的に機能する場合(=株価こう着局面)

株価の上昇/下落にかかわらず、配当金とプレミアム収入を得ることができます。

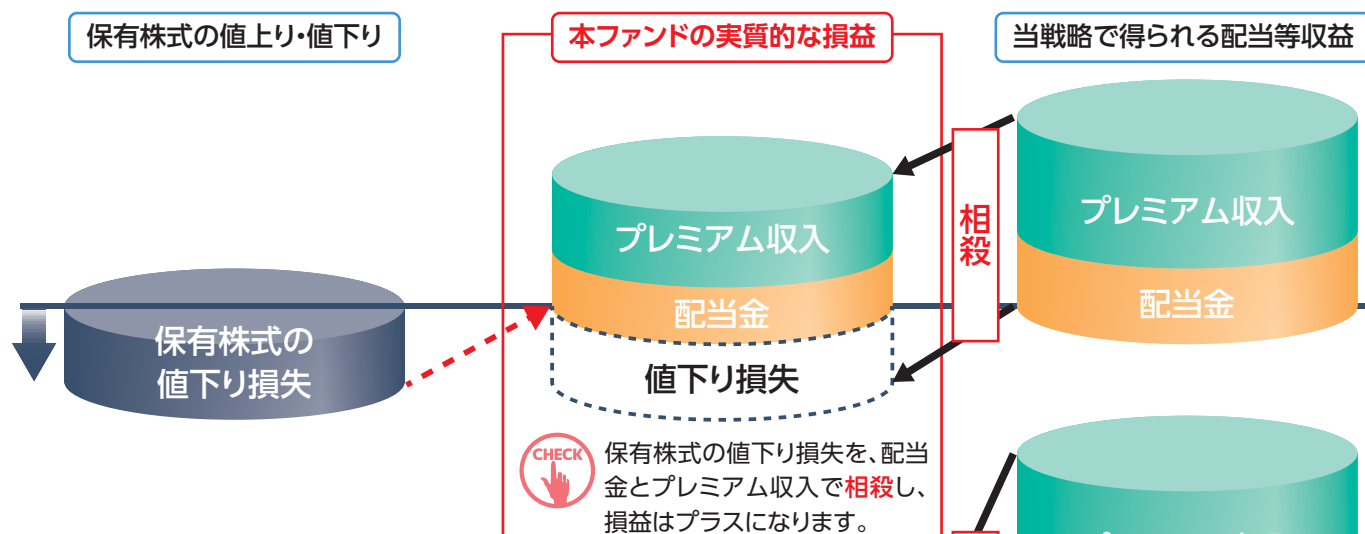


メリット

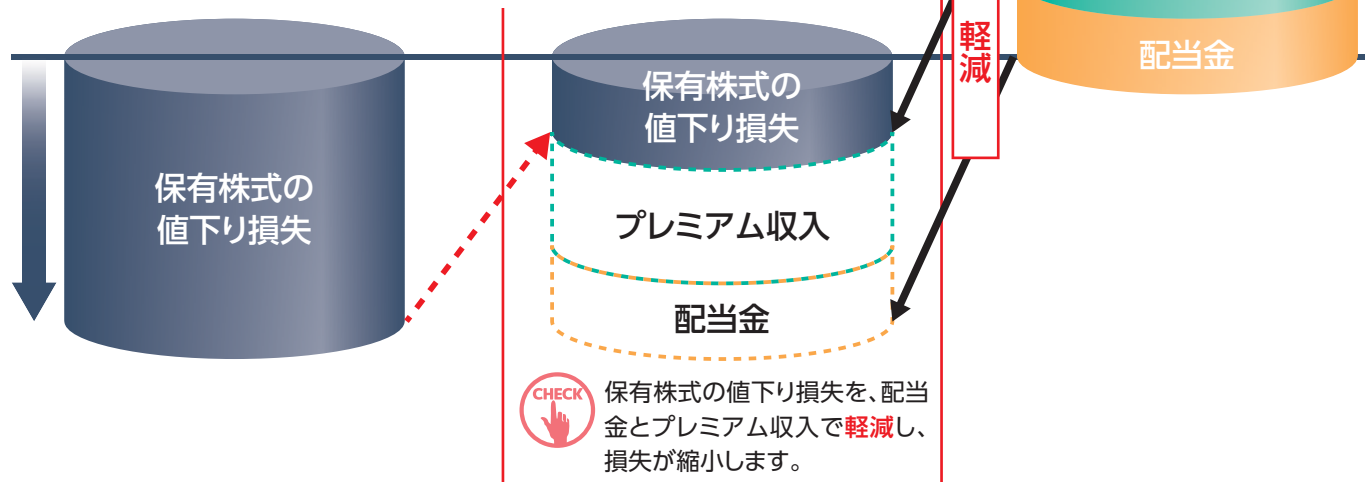
③ 当戦略が効果的に機能する場合(=株価下落局面)

配当金とプレミアム収入を得ることで、保有株式の値下りによる損失を相殺あるいは軽減させることができます。

③-1. 保有株式の価格が下落(下落幅<配当等収益)



③-2. 保有株式の価格が大きく下落(下落幅≥配当等収益)



上記イメージ図は、カバードコール戦略の損益につきすべての場合を網羅したものではありません。また、ファンド全体の損益を表したものではありません。上記イメージ図は、ファンドの将来の運用成果について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

(ご参考) 定率払出し型ファンドの特徴

※下記は「長生き人生」における運用の考え方をご理解いただくためのご参考情報であり、示唆・保証するものではありません。

“定率”払出しファンドの特徴とは...

- 本ファンドでは、各決算日の基準価額に対して一定率(年換算)の払出し金をお支払いいたします。
- このような“定率”払出し型のファンドは基準価額の変動に応じて、毎期の払出し金(分配金)も変動することになります。
- “定率”払出し型のファンドの特徴を掴むためにも右ページチェックポイントと併せて下表をご参照ください。

【当初元本10,000円・取崩し率7%】

| 取崩し率年7% | | 運用利回り | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 |
|---------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| -2% | 元本 | | 9,136円 | 8,347円 | 7,626円 | 6,967円 | 6,365円 | 5,816円 | 5,313円 | 4,854円 | 4,435円 | 4,052円 | 3,702円 |
| | 払出し年額 | | 672円 | 614円 | 561円 | 512円 | 468円 | 428円 | 391円 | 357円 | 326円 | 298円 | 272円 |
| 0% | 元本 | | 9,322円 | 8,690円 | 8,101円 | 7,552円 | 7,040円 | 6,562円 | 6,117円 | 5,703円 | 5,316円 | 4,956円 | 4,620円 |
| | 払出し年額 | | 678円 | 632円 | 589円 | 549円 | 512円 | 477円 | 445円 | 415円 | 387円 | 360円 | 336円 |
| 5% | 元本 | | 9,802円 | 9,608円 | 9,417円 | 9,231円 | 9,048円 | 8,868円 | 8,693円 | 8,520円 | 8,351円 | 8,186円 | 8,024円 |
| | 払出し年額 | | 694円 | 680円 | 666円 | 653円 | 640円 | 628円 | 615円 | 603円 | 591円 | 579円 | 568円 |
| 10% | 元本 | | 10,304円 | 10,618円 | 10,941円 | 11,273円 | 11,616円 | 11,969円 | 12,334円 | 12,709円 | 13,095円 | 13,494円 | 13,904円 |
| | 払出し年額 | | 710円 | 731円 | 754円 | 776円 | 800円 | 824円 | 849円 | 875円 | 902円 | 929円 | 958円 |



例えば、表内赤枠の6年目をチェックしましょう。
“定率”払出し型のファンドでは、**運用の好調・不調**によって払出し金額が増減しています。

【当初元本10,000円・取崩し率15%】

| 取崩し率年15% | | 運用利回り | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 |
|----------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| -2% | 元本 | | 8,426円 | 7,100円 | 5,983円 | 5,042円 | 4,248円 | 3,580円 | 3,016円 | 2,542円 | 2,142円 | 1,805円 | 1,521円 |
| | 払出し年額 | | 1,388円 | 1,170円 | 986円 | 831円 | 700円 | 590円 | 497円 | 419円 | 353円 | 297円 | 251円 |
| 0% | 元本 | | 8,599円 | 7,394円 | 6,358円 | 5,467円 | 4,701円 | 4,043円 | 3,476円 | 2,989円 | 2,570円 | 2,210円 | 1,901円 |
| | 払出し年額 | | 1,401円 | 1,205円 | 1,036円 | 891円 | 766円 | 659円 | 566円 | 487円 | 419円 | 360円 | 310円 |
| 5% | 元本 | | 9,045円 | 8,180円 | 7,399円 | 6,692円 | 6,053円 | 5,474円 | 4,951円 | 4,478円 | 4,050円 | 3,663円 | 3,313円 |
| | 払出し年額 | | 1,433円 | 1,296円 | 1,172円 | 1,060円 | 959円 | 867円 | 785円 | 710円 | 642円 | 580円 | 525円 |
| 10% | 元本 | | 9,511円 | 9,046円 | 8,604円 | 8,184円 | 7,784円 | 7,404円 | 7,042円 | 6,698円 | 6,370円 | 6,059円 | 5,763円 |
| | 払出し年額 | | 1,466円 | 1,394円 | 1,326円 | 1,261円 | 1,200円 | 1,141円 | 1,085円 | 1,032円 | 982円 | 934円 | 888円 |



～運用利回り別の払出し後元本、払出し年額一覧表～

「長生き人生」の運用実績ではありません。また、「長生き人生」の将来の運用成果を

“定率”払出しファンドのチェックポイント

- CHECK!** 投資環境が良好で、運用が好調(運用利回り上昇)の場合、払出し金額は増加します。一方で、投資環境が悪化し運用が不調(運用利回り低下)の場合は払出し金額が減少します。
- CHECK!** 基準価額の上昇に応じて、払出し金額は増加しますが、反対に、基準価額の下落に応じて、払出し金額は減少していきます。

| 12年目 | 13年目 | 14年目 | 15年目 | 16年目 | 17年目 | 18年目 | 19年目 | 20年目 | 21年目 | 22年目 | 23年目 | 24年目 | 25年目 |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 3,382円 249円 | 3,090円 227円 | 2,823円 208円 | 2,579円 190円 | 2,356円 173円 | 2,153円 158円 | 1,967円 145円 | 1,797円 132円 | 1,642円 121円 | 1,500円 110円 | 1,370円 101円 | 1,252円 92円 | 1,144円 84円 | 1,045円 77円 |
| 4,307円 313円 | 4,015円 292円 | 3,742円 272円 | 3,489円 254円 | 3,252円 237円 | 3,032円 220円 | 2,826円 206円 | 2,634円 192円 | 2,456円 179円 | 2,289円 167円 | 2,134円 155円 | 1,989円 145円 | 1,855円 135円 | 1,729円 126円 |
| 7,865円 557円 | 7,709円 546円 | 7,556円 535円 | 7,406円 524円 | 7,260円 514円 | 7,116円 504円 | 6,975円 494円 | 6,836円 484円 | 6,701円 474円 | 6,568円 465円 | 6,438円 456円 | 6,310円 447円 | 6,185円 438円 | 6,063円 429円 |
| 14,327円 987円 | 14,763円 1,017円 | 15,212円 1,048円 | 15,674円 1,080円 | 16,151円 1,112円 | 16,642円 1,146円 | 17,149円 1,181円 | 17,670円 1,217円 | 18,208円 1,254円 | 18,761円 1,292円 | 19,332円 1,332円 | 19,920円 1,372円 | 20,526円 1,414円 | 21,150円 1,457円 |



※本ファンドにおいては、基準価額が3,000円を下回った場合に繰上償還を行うため、元本3,000円以下に灰網掛けをしております。



“定率”払出し型のファンドでは、**基準価額の上昇・下落**によって払出し金額も増減します。一例として、表内青枠の元本と払出し年額の推移をチェックしてみましょう。

| 12年目 | 13年目 | 14年目 | 15年目 | 16年目 | 17年目 | 18年目 | 19年目 | 20年目 | 21年目 | 22年目 | 23年目 | 24年目 | 25年目 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1,281円 211円 | 1,080円 178円 | 910円 150円 | 767円 126円 | 646円 106円 | 544円 90円 | 459円 76円 | 387円 64円 | 326円 54円 | 274円 45円 | 231円 38円 | 195円 32円 | 164円 27円 | 138円 23円 |
| 1,634円 266円 | 1,405円 229円 | 1,208円 197円 | 1,039円 169円 | 894円 146円 | 768円 125円 | 661円 108円 | 568円 93円 | 489円 80円 | 420円 68円 | 361円 59円 | 311円 51円 | 267円 44円 | 230円 37円 |
| 2,997円 475円 | 2,711円 429円 | 2,452円 388円 | 2,217円 351円 | 2,005円 318円 | 1,814円 287円 | 1,641円 260円 | 1,484円 235円 | 1,342円 213円 | 1,214円 192円 | 1,098円 174円 | 993円 157円 | 898円 142円 | 812円 129円 |
| 5,481円 845円 | 5,213円 804円 | 4,959円 764円 | 4,716円 727円 | 4,486円 691円 | 4,267円 658円 | 4,058円 626円 | 3,860円 595円 | 3,671円 566円 | 3,492円 538円 | 3,321円 512円 | 3,159円 487円 | 3,004円 463円 | 2,858円 440円 |



※本ファンドにおいては、基準価額が3,000円を下回った場合に繰上償還を行うため、元本3,000円以下に灰網掛けをしております。

(ご参考)前ページ一覧表に基づく、当初元本1,000万円

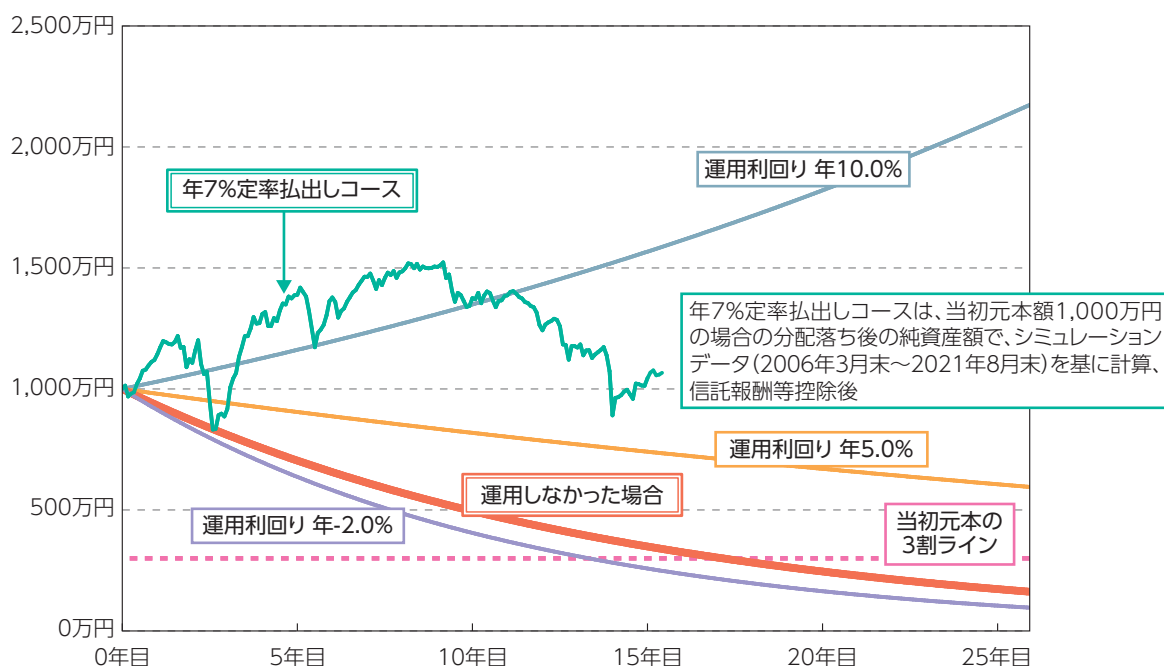
※下記は「長生き人生」における運用の考え方をご理解いただくためのご参考情報であり、示唆・保証するものではありません。

年7%定率払出しコースの資産寿命シミュレーション

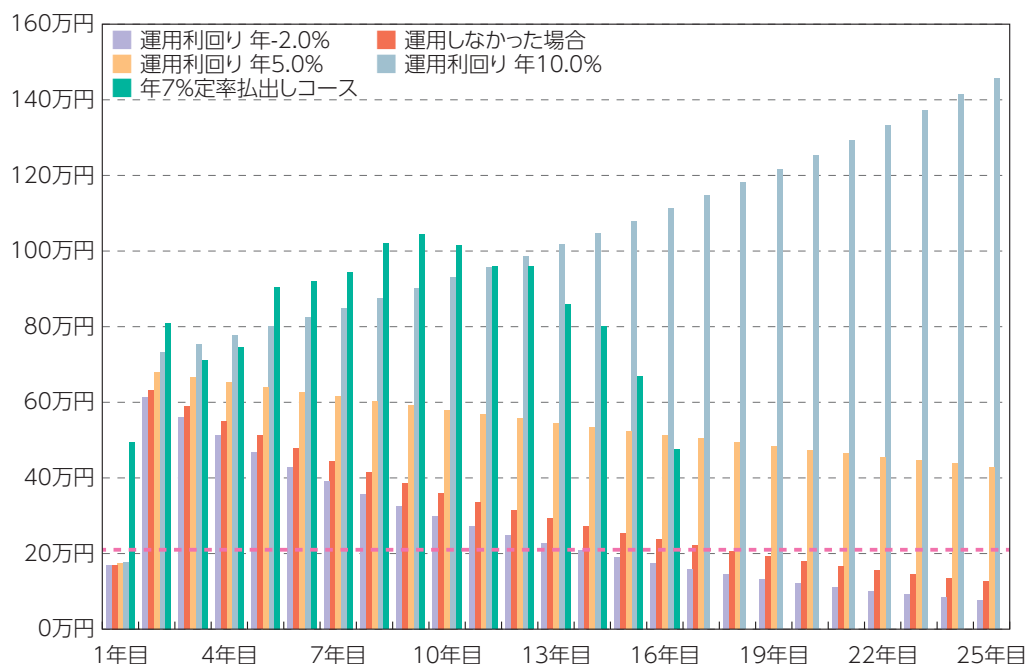
※このページは、シミュレーションです。シミュレーションとは所与のデータや数式を用いることにより、現実には起こり得るのと似た状態を設定して試行を重ねたものにすぎず、実際に生起する事象とは大きく異なる可能性があります。したがって、「長生き人生」の実際の運用成果は、シミュレーションに比べ悪化するなど大幅に相違する場合があります。

2006年3月末～2021年8月末の期間におけるファンド(試算)のパフォーマンス(信託報酬等控除後)は、為替変動リスクを抑えつつ、株式の値上りの可能性をプレミアムとして積上げた結果、年7%の払出しを行った場合においても、概ね元本を上回る推移となりました。

【取崩し率7%・元本の推移】



【取崩し率7%・取崩し年額の推移】



[出所] Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成 (期間) 2006年3月末～2021年8月末

とした場合の資産寿命シミュレーション

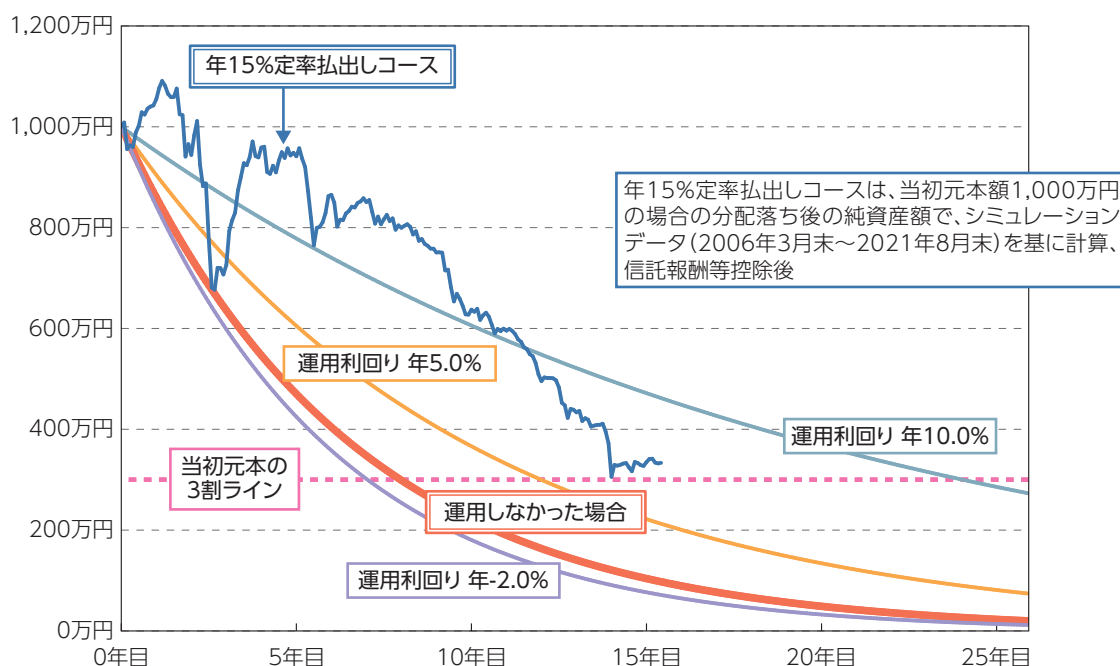
「長生き人生」の運用実績ではありません。また、「長生き人生」の将来の運用成果を

年15%定率払出しコースの資産寿命シミュレーション

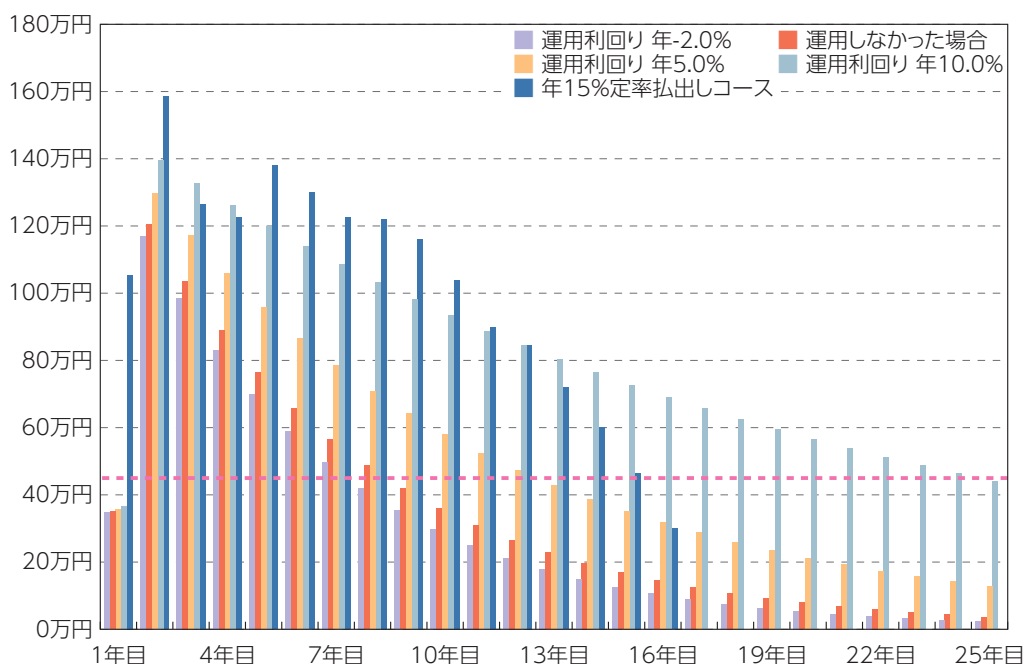
※このページは、シミュレーションです。シミュレーションとは所与のデータや数式を用いることにより、現実には起こり得るのと似た状態を設定して試行を重ねたものにすぎず、実際に生起する事象とは大きく異なる可能性があります。したがって、「長生き人生」の実際の運用成果は、シミュレーションに比べ悪化するなど大幅に相違する場合があります。

2006年3月末～2021年8月末の期間におけるファンド(試算)のパフォーマンス(信託報酬等控除後)に基づき、年15%の払出しを行った場合には、取崩しに伴い元本が徐々に縮小していく結果となりました。しかし、運用をせずに年15%取崩すと約8年で当初元本の3割程度まで縮小してしまいますが、運用益によって資産寿命を大幅に延ばすことに成功しています。

【取崩し率15%・元本の推移】



【取崩し率15%・取崩し年額の推移】



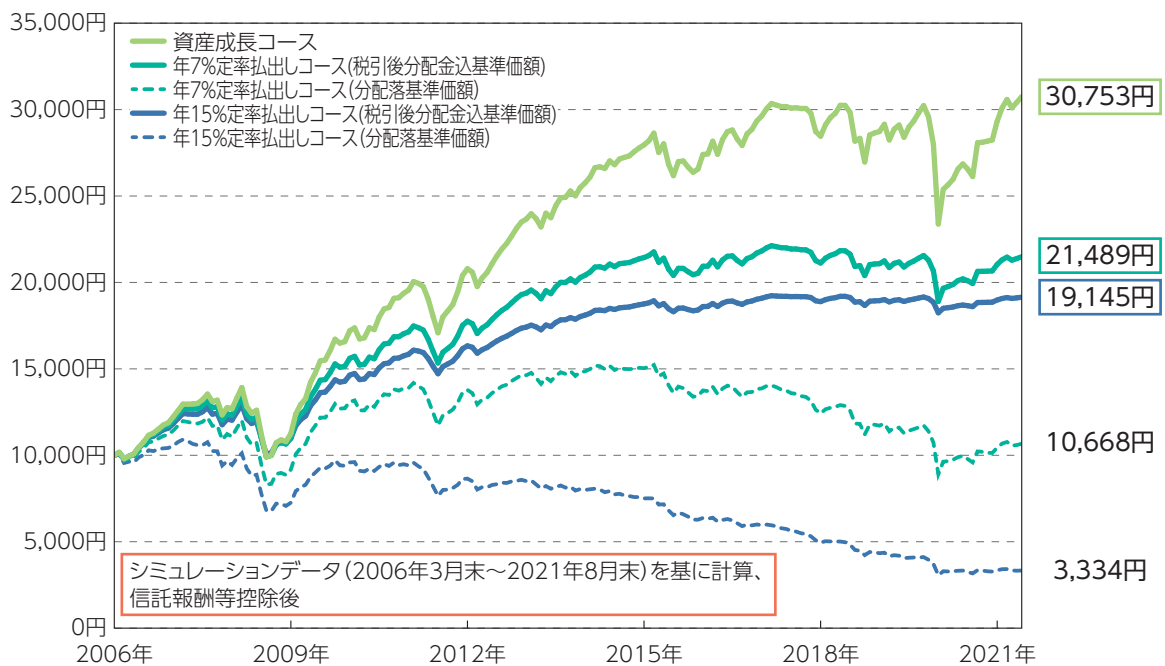
[出所] Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成 (期間) 2006年3月末～2021年8月末

(ご参考)各コースの税引き後払出し金込基準価額のシミュレーション

※下記は「長生き人生」における運用の考え方をご理解いただくためのご参考情報であり、「長生き人生」の運用実績ではありません。また、「長生き人生」の将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

各コースの基準価額推移シミュレーション

※このページは、シミュレーションです。シミュレーションとは所与のデータや数式を用いることにより、現実には起こり得るのと似た状態を設定して試行を重ねたものにすぎず、実際に生起する事象とは大きく異なる可能性があります。したがって、「長生き人生」の実際の運用成果は、シミュレーションに比べ悪化するなど大幅に相違する場合があります。



上記の図は2006年3月末～2021年8月末の期間におけるシミュレーションデータに基づく、各コースの税引き後払出し金込(受取)の基準価額です。

投資家の皆様が受取った払出し金をファンドへ再投資しなかった場合のシミュレーションを表しています。

●年7%定率払出しコースの例

2021年8月末時点の払出し金込の基準価額は21,489円となりました。

内訳は**基準価額(分配落) 10,668円、累計払出し金額(税控除後) 10,821円**という結果でした。

年7%定率払出しコースでは基準価額自体が上昇しており、累計の払出し金額では年15%コースに劣ってしまいましたがトータルで見ると年15%コースを上回る結果となりました。

●年15%定率払出しコースの例

2021年8月末時点の払出し金込の基準価額は19,145円となりました。

内訳は**基準価額(分配落) 3,334円、累計払出し金額(税控除後) 15,811円**という結果でした。

単純に基準価額だけ見ると下落していますが、受取った払出し金を含めると当初の元本よりも実質的には殖えていることが分かります。本ファンドがコンセプトとする「資産寿命の延伸」の効果が表れていると考えられます。

[出所] Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成 (期間) 2006年3月末～2021年8月末
※2006年3月末を10,000円として算出

各コースの分配(払出し)水準について

| 資産成長コース | 年7%定率払出しコース | 年15%定率払出しコース |
|----------------------------------|--|---|
| 年2回決算を行います。 | 毎月決算を行います。 | 毎月決算を行います。 |
| 原則として毎年2月および8月の16日。(休業日の場合は翌営業日) | 年12回(原則として毎月16日。休業日の場合は翌営業日) | 年12回(原則として毎月16日。休業日の場合は翌営業日) |
| 複利効果による資産の成長を重視し、分配を極力抑制します。 | <ul style="list-style-type: none"> 決算日における決算前基準価額水準の概ね年7%相当の金額を払出すことを目標とします。 原則として、奇数月には偶数月の2倍前後の金額を払出します。 | <ul style="list-style-type: none"> 決算日における決算前基準価額水準の概ね年15%相当の金額を払出すことを目標とします。 原則として、奇数月には偶数月の2倍前後の金額を払出します。 |

- ・上記の払出しは、有価証券届出書提出日現在の法令や諸規則、税制を前提としています。今後法令や諸規則等が変更された場合、上記のような払出しができなくなる可能性があります。
- ・払出し水準は、上記の料率のお支払いを保証するものではありません。また、本ファンドの収益率や利回りを示すものではありません。
- ・払出し金(分配金)は、計算期間中の基準価額の上昇分を上回ることがあり、その一部または全部が**実質的な投資元本の払戻しに相当**する場合があります。
- ・払出し金(分配金)は、投資信託の純資産から支払われるため、**払出し金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下落します。**

<資産成長コース>は、複利効果による資産の成長を重視し、分配を極力抑制します。

<低率払い出しコース>の払出し金額について、詳細はP6の「払出し水準表」をご参照ください。

※分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。目論見書も併せてご参照ください。

繰上償還について

■基準価額が一度でも3,000円を下回った場合には、短期金融商品等による安定運用に移行し、原則として当該日の翌営業日から1ヵ月以内に繰上償還します。

※基準価額は1万口当たり。支払済分配金を加算しません。

- 主要投資対象とする外国投資信託が信託を終了した場合、または外国投資信託の分配方針の変更により商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。

主な投資制限

- 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- 株式への直接投資は行いません。
- 外貨建資産への直接投資は行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

ファンドの特色

収益分配金(払出し金)に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

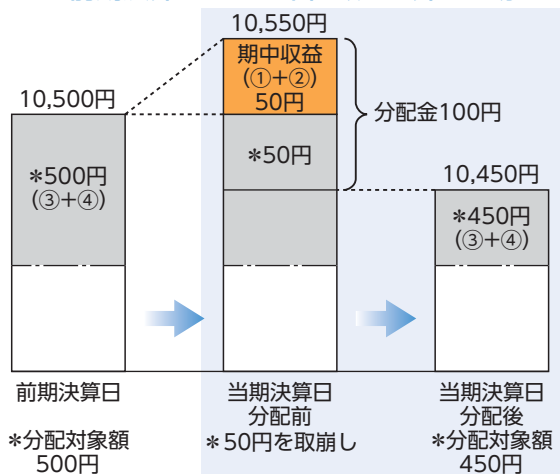
投資信託で分配金が支払われるイメージ



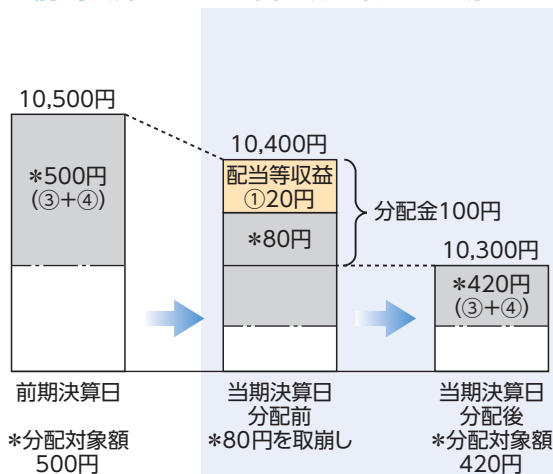
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

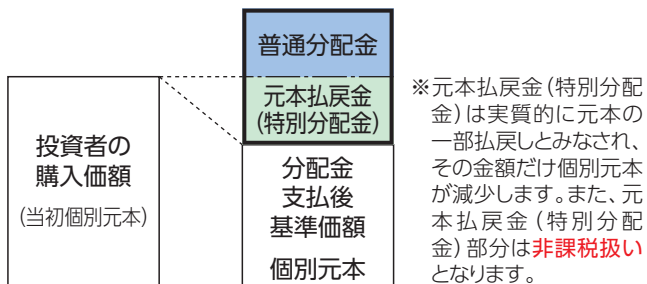


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

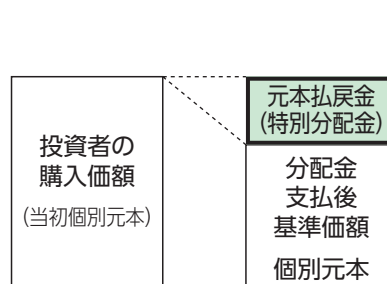
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

追加的記載事項

■組入れ投資信託証券の概要

- クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲーグローバル高配当株式プレミアム・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・プレミアム・クラスA)
- クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲーグローバル高配当株式プレミアム・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・プレミアム・クラスB)
- クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲーグローバル高配当株式プレミアム・ファンド (適格機関投資家限定) (シングル・プレミアム・クラスC)

| 形態 | ケイマン籍外国投資信託／円建て |
|-------|---|
| 運用方針 | <p>1.主として、担保付スワップ取引を通じて、実質的に世界の株式に投資を行い、加えて世界株式の個別銘柄を対象とした株式オプション取引を行うことにより、配当収入の確保と中長期的な値上り益の投資成果の享受を目指します。</p> <p>2.カバードコール戦略の構築にあたっては、以下の点に留意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレディ・スイスが有する企業価値評価モデルであるHOLT(ホルト)に従って選定された世界株式の中から、時価総額や流動性等を考慮して投資対象銘柄を選定します。 ・投資対象銘柄の中から、相対的に高い配当利回りで、下値抵抗がある相対的に割安で健全性の高い銘柄を選定し、世界株式ポートフォリオを構築します。 ・株式オプション取引：各個別銘柄毎に、当該株式を原資産とするヨーロピアン・コールオプションを売却することで株式オプション取引を構築します。個別銘柄ごとに、保有株数の全部にかかるコールオプションを売却することを基本とします。 ・世界株式およびオプション取引の運用は、クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッドが行います。 |
| 分配方針 | <p>(シングル・プレミアム・クラスA) 原則として、分配は行わない方針です。</p> <p>(シングル・プレミアム・クラスB) (シングル・プレミアム・クラスC) 原則として、月次で分配を行い、1口当たりの分配金は、選定された世界株式の配当利回り、関連するオプション取引によるプレミアム、1口当たり純資産価格の水準等に基づいて支払われるものとし、1ヵ月ごとに見直されます。 ※今後、管理会社の判断によって変更される場合があります。</p> |
| 管理報酬等 | <p>純資産総額に対して年率0.40%程度</p> <p>※上記料率には、管理会社、受託会社、管理事務代行会社、保管会社、報酬代行会社とその代理人への報酬等、および設立費用、監査報酬等が含まれます。</p> <p>※その他費用として、担保付スワップ取引において証券取引等に伴う手数料等が支払われます。</p> |
| 管理会社 | クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン)リミテッド |
| 換金手数料 | 0.50% |
| 備考 | 当外国投資信託は、担保付スワップ取引の相手方に担保付スワップ取引の構築に必要な現金を支払い、当該取引の評価額に相当する担保を受け入れます。担保付スワップ取引の相手方は、日々の担保付スワップ取引の評価を行っており、担保も洗い替えされます。担保付スワップ取引の評価には、世界株式等へ投資する場合にかかるコストや税金等が反映されます。 |

■FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

| 運用方針 | 主として、「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債及び短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。 |
|------|--|
| 信託報酬 | ファンドの純資産総額に対し年0.143%(税抜0.13%) |
| 委託会社 | 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |

*上記は、本書作成日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

基準価額の変動要因

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。**信託財産に生じた**利益及び損失は、すべて投資者の皆様**に帰属します。また、**投資信託は預貯金と異なります。**本ファンドの基準価額の主な変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

主な変動要因

| | |
|--------------------|--|
| 価格変動リスク | 株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。組入れた株式の価格が下落した場合、本ファンドの基準価額が下落する要因となり、損失を被ることがあります。 |
| カバードコール戦略の利用に伴うリスク | <ul style="list-style-type: none"> カバードコール戦略では、原資産である株式価格が上昇した場合の値上り益が限定されるため、株式のみに投資した場合に比べ投資成果が劣る可能性があります。本ファンドのカバードコール戦略では、株式への投資とそれぞれの個別銘柄ごとのコールオプションの売りを組み合わせるため、株式価格上昇時の値上り益が個別銘柄ごとに限定される結果、投資成果が株式市場全体の動きに対して劣後する可能性があります。 コールオプションの売りを行うことにより得られるプレミアム収入の水準は、オプション売却時点の価格水準や権利行使水準、価格変動率(ボラティリティ)、満期日までの期間、需給等複数の要因により決まりますので、当初想定したようなプレミアム収入の水準が確保できない可能性があります。 株式の価格水準や価格変動率の変動等によりコールオプションの評価値が変動し、損失を被ることがあります。 カバードコール戦略において、特定の期間で価格が下落した場合、再度カバードコール戦略を構築した場合の値上り益は、戦略再構築日に設定される権利行使価格までの値上り益に限定されますので、その後当初の水準まで価格が回復しても、本ファンドの基準価額の回復は緩慢になる可能性があります。 |
| 為替変動リスク | 本ファンドは主要投資対象とする外国投資信託において、原則として為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行う際、円金利が組入資産の通貨の金利より低い場合には、金利差相当分の費用(為替ヘッジコスト)がかかります。 |
| カントリーリスク | 実質的な投資対象となる国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。 |
| スワップ取引に関するリスク | <ul style="list-style-type: none"> 本ファンドが投資対象とする外国投資信託におけるスワップ取引では、取引の相手方から担保を受取ることで信用リスクの低減を図りますが、相手方に債務不履行や倒産その他の事態が生じた場合、カバードコール戦略の投資成果を享受することができず、予想外の損失を被る可能性があります。また、スワップ取引の相手方から受け入れた担保を想定した価格で処分できない場合があることから損失を被る可能性があります。 本ファンドが投資対象とする外国投資信託は、スワップ取引の相手方が現実取引する株式やオプション取引について何ら権利を有しません。 |
| その他 | 解約資金を手当てするためにカバードコール戦略を解消(株式の売却およびオプションの買戻し)する際、市場規模や市場動向によっては当初期待される価格で解消できない場合があります。この場合、ファンドの基準価額が下落する要因となり、損失を被ることがあります。 |

その他の留意点

本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

お申込みメモ

| | |
|-------------------|---|
| 購入単位 | 販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金単位 | 販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額となります。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からのお支払いとなります。 |
| 購入・換金申込受付不可日 | 次のいずれかの休業日に該当する場合は、原則として購入・換金の受付を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの証券取引所 ・ニューヨークの証券取引所 ・香港の証券取引所 |
| 申込締切時間 | 原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。なお、受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の受付分として取扱います。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。 |
| 換金制限 | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約または換金の請求額が多額となる場合には制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込の受付を中止すること及びすでに受付けた購入・換金の申込の受付を取消す場合があります。 |
| 信託期間 | 2028年8月16日まで(設定日：2018年8月17日) ※信託期間の延長が有利であると認めるときは、信託期間を延長する場合があります。 |
| 繰上償還 | <ul style="list-style-type: none"> ● 委託会社は、各ファンドの基準価額(1万口当たり。支払済分配金を加算しません。)が3,000円を下回った場合には、短期金融商品等による安定運用に移行し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し信託を終了(繰上償還)させます。 ● 委託会社は、各ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなる場合、もしくは当該外国投資信託の分配方針変更により商品の同一性が失われることとなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し信託を終了(繰上償還)させます。 ● 次の場合には委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託期間を繰り上げて償還させる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき |
| 決算日 | <資産成長コース> 毎年2月16日および8月16日(休業日の場合は翌営業日) <年7%定率払出しコース><年15%定率払出しコース> 毎月16日(休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | <資産成長コース> 年2回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。 <年7%定率払出しコース><年15%定率払出しコース> 年12回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。 |
| 信託金の限度額 | 各ファンド5,000億円 |
| 公 告 | 原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 http://www.sbi-am.co.jp/ |
| 運用報告書 | 毎年2月、8月の決算時及び償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社より交付します。 |
| 課 税 関 係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※税法が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。 |

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | | |
|---------|---|--------------------------|
| 購入時手数料 | 購入価額に 3.3% (税抜：3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。 | 購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等の対価 |
| 信託財産留保額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% を乗じた額をご換金時にご負担いただきます。 | 換金に伴う有価証券売買委託手数料等の費用 |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | | | |
|--|---|---------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に 年1.089% (税抜：年0.99%) を乗じて得た金額とします。当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。 信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率 <信託報酬の配分(税抜)> | | |
| | 支払先 | 料率 | 役務の内容 |
| | 委託会社 | 年0.40% | ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価 |
| | 販売会社 | 年0.55% | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価 |
| | 受託会社 | 年0.04% | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| | 上記各支払先への料率には、別途消費税等相当額がかかります。 | | |
| 投資対象とする投資信託証券の信託報酬 | 年0.40%程度 | 投資対象とする投資信託証券の管理報酬等 | |
| 実質的な負担* | 年1.489% (税込)程度 | — | |
| *ファンドが投資対象とする投資信託の信託報酬を加味した、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率になります。なお、投資対象ファンドの変更等により、数値は変動する場合があります。 | | | |
| その他の費用及び手数料 | ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。 | | |

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

税金は以下の表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法などにより異なる場合があります。

| 時 期 | 項 目 | 税 金 |
|--------------|------------------------|--|
| 分配時 | 所得税 [*] 及び地方税 | 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315% |
| 換金(解約)時及び償還時 | 所得税 [*] 及び地方税 | 譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※復興特別所得税を含みます。

- 少額投資非課税制度[愛称：NISA(ニーサ)]、未成年者少額投資非課税制度[愛称：ジュニアNISA(ジュニアニーサ)]をご利用の場合
NISA及びジュニアNISAをご利用の場合、毎年一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 上記は2021年8月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- 法人の場合は上記とは異なります。
- 税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。